

外国人研究員の募集について

島根大学汽水域研究センターでは、2006年1月1日以降のなるべく早い時期に採用予定の外国人研究員の募集を行います。応募のためには、汽水域研究センター内に共同研究を行う教員が必要です。応募に必要な全ての書類を、共同研究を行う教員を通じて提出して下さい。

記

1. 募集人員 1名(外国人研究員)
2. 応募締切 2005年10月31日
3. 任用予定期間 2006年1月1日以降のなるべく早い時期から1年間(または6ヶ月以上)
4. 応募資格等
 - (1) 博士の学位を有する者
 - (2) 汽水域の科学的調査研究において優れた業績をあげ、本センターの関連分野の担当教員と共同して研究に取り組める者
 - (3) 採用決定後、必ず赴任できる者(所属長の承諾が得られる者)
5. 提出書類
 - (1) 履歴書(詳細については添付した例をご覧ください。)
兵役の期間についても必ず記入して下さい。なお、職歴は学歴とともに給与決定のための資料となります。
 - (2) 著書・論文が記載された書類(一覧)
添付した例を参考に記入して下さい。
 - (3) 著書・論文等の別刷り
添付は主要なもの5編以内とし、複写でも可。
 - (4) 汽水域研究センターでの研究に対する抱負(500語以内)。
6. 追加事項
選考の過程で、選考委員会は候補者に対し、著書・論文等の別刷り、学位記の(写)または卒業証明書、修了証明書、健康診断書及びこれまでの雇用を証明する書類の提出を求めることがあります。また、候補者の勤務する研究所長あるいは学部長の承諾書の提出も求められることもあります。

履歴書例(別紙参照)

外国人研究員受入プログラム

島根大学汽水域研究センター (ReCCLE)における外国人研究員を公募します。センターの研究課題に関心がある関連分野の研究者は、下記の条件に従い申請して下さい。

(1) 条件

外国人研究員は顕著な研究業績をあげた者で、基本的に常勤とし、汽水域での調査研究全般において島根大学汽水域研究センターの教員と共同して研究を行える者としてします。

(2) 身分

外国人研究員は招聘期間中、日本人教員と同等の立場とする。また経歴に応じ、島根大学の客員教授 / 助教授とします。

(3) 職責

外国人研究員の職務は、汽水域研究センターの活動状況に応じ、大学スタッフと共同研究をすることです。

(4) 雇用契約期間

外国人研究員の雇用契約期間は6ヶ月以上1年未満です。

(5) 給与

月額給与は平成17年度は表1に示すとおりです。ただし、給与改定された場合、それに伴い月額給与が変わる場合もあります。

給与は申請者の履歴書(学歴及び職歴を含む)を基に、一定の基準に従い決定します。また、日本人教員の例に準じて通勤手当が支給されます。給与は毎月定められた日に支給されます。

表1. 給与体系(2005年4月以降)

号俸 招聘期間6ヶ月以上

1	396,000 円
2	449,000
3	504,000
4	556,000
5	606,000
6	657,000
7	697,000

(6) 旅費

A. 招聘旅費

招聘旅費は、現住所から本学までの最も経済的な通常の経路及び方法による旅行に必要な鉄道賃、航空賃、車賃、日当、宿泊料及び旅行雑費(出入国税、予防注射料、旅券の交付

手数料，査証料等）を支払います。また、それに伴い証拠書類（航空券・その他様々な料金等の領収書）の提出が必要です。また同伴家族に係る旅費は支給されません。

B. 帰国旅費

帰国旅費は、雇用期間を完全に終了した場合に支給されます。

（ 7 ） 査 証

以下は資格申請に必要な書類です。

- 1) 旅券のコピー
- 2) 在職証明書
- 3) 写真 (4 X 3 cm)

送付された在留資格認定証明書に基づき、最寄りの日本領事館において適切な査証が発行されます。

（ 8 ） 招聘の手続き等

A. 提出書類

- 1) 履歴書
- 2) 学位記の (写) または卒業証明書、修了証明書
- 3) これまでの雇用を証明する書類
- 4) 招聘者の勤務する所属長の承諾書
- 5) 採用後に健康診断書が必要になります。(経費は本センター負担) ただし、雇用期間が 1 年未満の場合はありません。

B. 学長からの招聘状

正式な招聘状は学長より送付されます。この招聘状には、招聘の条件として主に身分・研究題目・招聘期間・給与及び旅費が記されます。

C. 雇用契約

外国人研究員は招聘による着任のため大学に到着後、まず学長との間で雇用契約を締結します。契約内容は、主に招聘状に示された雇用条件とします。正式な契約書は日本語の原本並びにその英語訳、各々 2 部とします。学長と外国人研究員がそれぞれ各 1 部を所持します。

履 歴 書 (例)

1 . 個 人

- (1) 氏 名 :
- (2) 生年月日(出生地) :
- (3) 国 籍 :
- (4) 性別 男/女
- (5) 既婚/未婚
- (6) 現在の職業 (大学・研究所・会社名及び職階)
- (7) 連絡先
 - ・電話 :
 - ・ F A X :
 - ・電子メール :
- (8) 自宅住所 :
職場住所 :

2 . 学 歴

大学入学以降の学歴を記載すること。

年 月	大学	学部	学科卒業
年 月	大学大学院		研究科修士課程入学
年 月	大学大学院		研究科修士課程修了
年 月	大学大学院		研究科博士課程入学
年 月	大学大学院		研究科博士課程修了

3 . 学 位

年 月 専攻 (B.Sc.) :
年 月 専攻 (M.Sc.) :
年 月 専攻 (Ph.D.) :

日付は卒業証明書・修了証明書と同じとすること。

4 . 学位論文タイトル

- (1) 修士論文 :
- (2) 博士論文 :

5 . 職 歴

年 月 ~ 年 月 株式会社 (研究員)

年 月 ~ 年 月	大学	学部 (助手)
年 月 ~ 年 月	大学	学部 (助教授)
年 月 ~ 年 月	大学	学部 (教授)
年 月 ~ 年 月	省	研究所 (主任研究員)

研究員等の資格により、外地又は内地において留学した期間は記載しない。

6 . 重要な業績

学術上重要な業績を記載すること。

7 . 著 書

一覧は、下記のフォーマットで新しいものから順に記載すること。

Nienhuis,P.H. and Smaal,A.C. (1994) The Oosterschelde Estuary (The Netherlands): A case-study of a changing ecosystem. Kluwer Academic Publishers. 597p.

8 . 論 文 (査読済)

一覧は、下記のフォーマットで新しいものから順に記載すること。

Baldwin,A.H. and Pendleton,F.N. (2003) Interactive effects of animal disturbance and elevation on vegetation of a tidal freshwater marsh. Estuaries, 26:905-915.

論文が印刷中の場合、編集者 (出版社) からの文書のコピーを添付する事。

最も重要な論文に印を付けること。

9 . 研究報告およびプロシーディングス

(1) 項目7と同様に記載すること。

(2) 研究報告・特許・国際会議等のプロシーディング等も、著書・論文一覧同様に記載すること。

10 . 所属する学会等

所属する学会名、役職および期間を明記すること。

11 . 賞

学会より受賞した賞等が有れば、これも記載すること。

12 . 今回の公募に有利と思われる補足説明 (特技, 社会的な活動歴など)

13 . 最近の顔写真 (4 X 3 cm)